



東京海洋大学概算要求(特別経費:プロジェクト分)

【高度な専門職業人の養成や専門教育機能の充実】

気候変動の世紀における体系的海洋学教育プログラム

目標 海洋観測を担う人材の育成

国際的な海洋観測をリードする海洋立国・日本の人材
・国際舞台で質の高い観測データを得ることのできる研究者、観測技術者
・海洋観測を支える技術者など



海洋観測を担う専門的人材の計画的育成の必要性

海洋観測に対する社会的要請

1. 気候変動対応のための国際共同観測
2. 海洋の利活用のための環境調査(環境アセスメント、生物資源調査など)
3. 海洋に関する科学的知見の充実

国際舞台で質の高い観測データを得ることのできる人材の不足

効果

- ・海洋観測分野への高度な人材供給
- ・我が国の海洋観測・研究機能の強化
- ・海洋学教育の体系化

海洋立国・日本の国際貢献、海洋の持続的利用

人材育成のための要件

物理・化学・生物過程の統合的理解

海洋観測の特殊性を踏まえた適性把握、
十分な実地教育、国際経験

東京海洋大学のリソースとこれまでの取り組み

我が国唯一の海洋に特化した大学

リソース

- ・旧2大学時代から海洋学の教育・研究を担当する教員集団
- ・4隻の練習船

これまでの取り組み

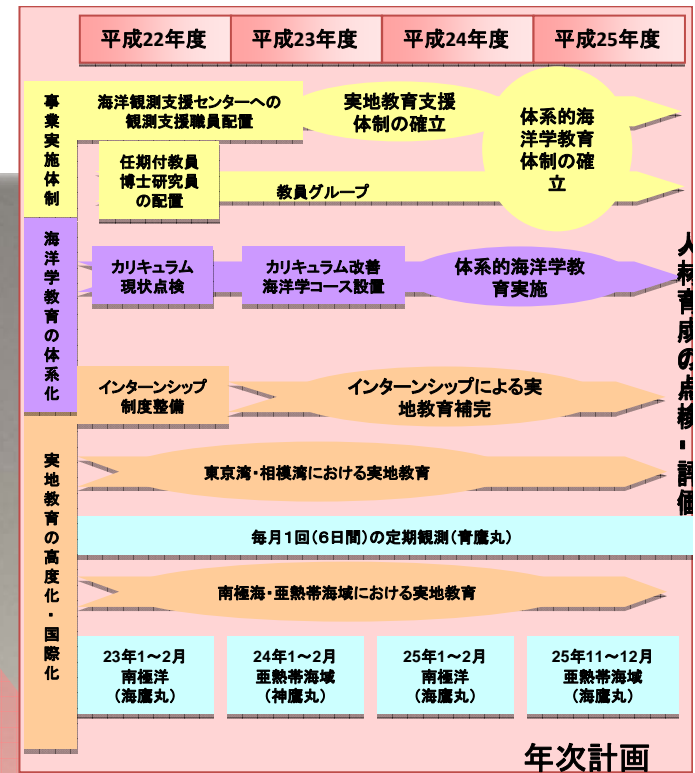
- ・海洋観測についての教育(実習含む)の実施(旧大学～)
- ・魅力ある大学院イニシアティブ(平成18～19年度)
- ・練習船による国際共同観測(平成19年度他多数)

課題

物理系・化学系・生物系を統合した体系的海洋学教育の確立

学部・大学院の連続性確保

より国際的で高度な実地教育機会の確保



事業内容

1. 海洋学教育の体系化(学部・博士前期課程一貫)
・物理系・化学系・生物系を有機的に統合した「海洋学コース」の設置

2. 海洋観測実地教育の高度化・国際化
・練習船の国際的共同利用による先端的海洋研究の場の整備と実地教育への活用
・他機関でのインターンシップ

教育プログラムの特色

物理系・化学系・生物系の有機的統合

高度な実地教育

学部・博士前期課程一貫

高い国際性

3海域での実地教育 国際舞台に向けた人材育成

南極洋・北極海

亜熱帯外洋域

伝統的な人材育成の継続

東京湾・相模湾